

株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(証券コード番号:2321)

「次世代ホームネットワーク実証実験」に参加 ～UPnP接続検証を実施～

株式会社ソフトフロント(東京本社:東京都港区、代表取締役社長:阪口 克彦 以下、ソフトフロント)は、総務省、次世代IPネットワーク推進フォーラム、独立行政法人情報通信研究機構が主催する「次世代ホームネットワーク実証実験」(3月5日～7日)に、他の参加機関と共同で「UPnP^(*)接続検証」をテーマに参加いたします。

ネットワークのブロードバンド化やIP化により、様々な家電機器がネットワークとの接続が可能になり、また連動することで、ホームネットワークにおける新たなサービスの創出が期待されます。しがしながら、機器間の接続性の担保など、現状のホームネットワーク環境には課題があり、安心・安全に高度で新しいサービスの提供を可能にするプラットフォームの構築が求められています。総務省、次世代IPネットワーク推進フォーラム、独立行政法人情報通信研究機構では、ホームネットワークの標準化、普及促進に向け、プラットフォームの構築を目的としてこの度「次世代ネットワーク実証実験」を開催することとなりました。

ソフトフロントは、他の参加企業と協力し、この度の実証実験を通じて多様な機器間での接続性の検証・検証方法を確立することで、ホームネットワーク環境の普及に取り組んでまいります。

「UPnP接続検証」は、ホームネットワークの構築に必要なNATトラバーサル^(*)の一つの技術として注目される「UPnP」の実用化を視野に、接続デバイスの拡大、サービスアプリケーションの拡大を目指しています。

<UPnP接続検証の概要>

検証場所

独立行政法人情報通信研究機構 知識創成コミュニケーション研究センター
(〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台 3-5)

検証概要

- 各社SOHOルータ等のUPnP IGD規格への適合性を検証
- UOPF18に準拠した検証用ツールを活用
- 検証方法を確立することにより、情報家電同士のインターネットを介した接続や各種サービスの普及促進

「次世代ホームネットワーク実証実験」の詳細につきましては、下記のサイトをご参照ください。

http://www2.nict.go.jp/pub/whatsnew/press/h19/080212/080212_s.html

用語説明

(*) UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ)

家庭内のパソコンや周辺機器、AV機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様。

(*) NATトラバーサル

NAT越えの問題を解決する手法の一つ

記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

【プロフィール】

株式会社ソフトフロント

1997年設立の SIP と VoIP を核技術としたソフトウェア開発企業です。IP 電話や第三世代携帯電話で通信プロトコルとして採用されている SIP に早くから注目し、SIP/VoIP 関連技術の開発に注力してまいりました。現在は、今まで培ってきた様々な技術やノウハウをもとに、NGN(次世代 IP ネットワーク)構想の本格化にあわせ、携帯電話などの各種通信機器メーカー、情報家電機器メーカーや通信事業者に SIP/VoIP ミドルウェア・ソリューションの提供を行い、競争力の高い最終製品/サービスの効率的な開発を支援しております。

URL: <http://www.softfront.co.jp>

【リリースに関するお問合せ先】

株式会社ソフトフロント

経営企画室 広報担当 中村

電話:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

E-mail:press@softfront.co.jp